

## 会社概要

|      |  |     |   |
|------|--|-----|---|
| 社名   | 株式会社デサン【さいたま市】   |     |   |
| 代表者  | 藤池 一誠  | 業種  | 塗装業及び広告サービス業  |
| 従業員数 | 88人  | URL | <a href="https://dessin.co.jp/">https://dessin.co.jp/</a>   |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 塗装事業(車両塗装等)</li> <li>• マーキング事業(ラッピング等)</li> <li>• サイン事業(屋外広告・看板の施工等)</li> </ul>   |     |   |
| 沿革   | <p>昭和35年 「(有)藤池塗装工業所」を設立</p> <p>昭和56年 文字／マーク／ステッカーの製作部門を独立させ「(株)デサン」を設立</p> <p>平成 9年 蓮田工場を開設</p> <p>平成13年 埼玉県第1号のバスラッピングを施行</p> <p>平成24年 現会長から事業承継</p> <p>平成26年 栗橋工場を開設</p> <p>平成29年 東京支店を開設</p> |     |  <p>栗橋工場外観</p> |

## 「経営革新計画」に取り組んだきっかけ

当時、工場が狭く、塗装をする車両等が工場の屋根の下に収まらず作業環境が十分ではなかった。また、ライン化できず作業待ちが起こるなど現場が非効率であった。繁忙期には、受注を断る場合も多く、生産性を上げれば、売上に繋がると確信していた。

そこで、大規模な工場の設立により生産体制を整え、受注量を増やすとともに、超大型車両の施工を実現することを目指した。

計画を掘り下げるために、産業人クラブの仲間が承認を得ていた「経営革新計画」に取り組むことを決意した。

## 経営革新のテーマと概要

|      |   |
|------|---|
| テーマ  | 新塗装工場稼働に伴い新鋭機械装置を導入し、生産効率・生産能力をアップし、売上アップを目指す |
| 計画期間 | 平成26年1月～平成28年12月(3年計画) 【平成26年9月承認】            |



大小多品種の車両を  
効率的に施工!

### ①新工場の設立

塗装等の施工工程の  
ライン方式化を実現



### ②UVインフラット機の導入

スペースセーピングと  
速乾性を実現



### ④人材面の整備

### ③大型塗装ブースの設置

生産効率とエネルギー  
効率のアップを実現



新工場の設立、新鋭設備の導入などハード面の整備により、超大型車両の受注が可能となるとともに生産性向上を実現した。また、地域に密着した雇用、熟練者のバランスの良い配置などソフト面も整備し、受注増に対応した。

## 「経営革新計画」の実践

### 1 新工場の整備

- 新工場ではライン方式を実現した。作業開始(搬入)から完成(搬出)まで折り返しなどがなく、一直線のラインで作業できるようになり、大幅に効率化が図られた。
- 超大型塗装ブース・小型塗装ブースを設け、多種多様な車両に、効率よく対応できる体制を整えた。

### 2 新鋭機械装置の導入

- UVインクジェット機とラミネーターを導入した。
- スペースセービングと作業環境改善及びVOC(揮発性有機化合物)対策に繋がるとともに、デザイン性や意匠性の高い商品の供給が可能となった。

### 3 体制面の整備

- 新入社員増加による作業効率の低下を避けるため、熟練者をバランス良く各工程に配置した。
- 標準作業書や作業マニュアルの作成を通じて、「誰でも化」を進めた。



ラッピング車(秩父鉄道)



新工場内(栗橋工場)

## 「経営革新計画」の成果

- 売上高、経常利益、付加価値額の大幅アップを達成した。
- 地元の高校生を中心に18名の雇用を創出した。
- 知名度の向上により、今までに取引がなかった先からも、問い合わせが来るようになった。

## 成功の秘訣

社内に計画を共有したこと、社員に当事者意識を持たせたことが要因。

月一回の役付会議では、実態と計画とを照らし合わせながら進捗の確認を行い、四半期ごとの発表会にて、進捗状況等を全社員に説明した。

また、成果物を見せたり、メディアに取り上げられたりすることで、社員のモチベーションが上がった。達成感を共有することが、成功に繋がると考える。

## 「経営革新計画」に取り組んでよかったこと

- ・ 経営者自身の「達成するしかない」目標となり、ブレずに事業を推進することが出来た。
- ・ 全社の目標が明確になり、進むべき道筋を描くことが出来た。
- ・ 他人事から我が事へと意識改革のきっかけづくりが出来た。

## これから「経営革新計画」に取り組む皆様へメッセージ

全社一丸となって推進することが、一番大切なことです。計画を通し、お客様へ期待以上のサービスを提供し続けることで、地域社会の発展につながるという意識を持ち、全社員で取り組みました。「経営革新計画」を策定したからこそ成しえたと確信しています。



藤池社長



従業員の皆様